

# Spring Has Come! どう伸ばす？新入生の技術とヤル気

## 壁にぶち当たったら、上手い部分に戻ってみる

キーパーラボ西日本 マネージャー 安藤 芳行



目的と理由を伝えてから、まず私の施工を見てもらって感想を聞きます。その後作業をパートに区切って新入生にやってみてもらってまた感想を聞きます。再度目的と理由を伝え、また私が施工するのを見てもらって、施工してもらいます。

ポイントは感想を言うってもらうこと。自分の理解度や上手い部分、苦手部分を認識してもらうと同時に、私がそれを共有することができるからです。

途中で壁にぶち当たるときが必ずあると思います。そんな時は上手い部分をやってもらいほめます。それから壁に当たった部分に戻ると意外と理解が進んでできるようになることがありますね。

## あれこれ語らず、伝えたいことを明確にする

キーパーラボ大須店 課長 鬼頭 一成



新入生には1つのことを繰り返し伝えるようにします。例えば洗車を教えるとき、あれこれと言うのではなく「今日は順番を意識してやってみてください」と繰り返し伝えます。すると「この人は今、順番を教えたいんだな」とシンプルに考えてくれるようになり、上達も早いように思います。

次は施工漏れ、次はスピードなどと、その日その時間によって、私が何を伝えたいのかを明確に気づいてもらえるように意識しています。

まず私の施工を見てもらい、順番を伝えながら施工してもらいます。ここで時間を測って現状を把握してもらいます。次に作業を区切って目的や意味、ポイント、作業における「なぜ？」を伝えながら、1つひとつ進めていき、ある程度できるようになってから最初から覚えた部分までをやってもらいます。

全体の施工がある程度できるようになってからもう一度最初から最後まで時間を測って上手くなっているという実感を味わってもらいながら、苦手部分を徹底してやります。「上手いは早い」に従って、品質が整ってきたらパートごと、全体の時間を測って意識して施工できるようにします。

## 品質を高めながら、「上手いは早い」を意識します

キーパーラボ西日本 マネージャー 伊東 真志



まず見てもらって、その後作業をパートに区切って、アドバイスをしながらやってみてもらいます。感想を聞き、「順番を忘れる」のであればメモを取ってみたり、「動きが難しい」のであればコツを伝えます。この時は時間を追わずにゆっくりでもいいのできっちりキレイにしてもらうことが大事。繰り返し作業して、だいたひできるようになったら全体の時間とパートごとの時間を共有していきます。休憩時間も一緒に過ごして、出身や家族、趣味などの話をしてコミュニケーションを取ると、リラックスして作業に向かえます。とにかくほめるよう意識しています。

## はじめはゆっくりキレイを意識して。リラックスして作業を進める

キーパーラボ足立店 課長 野崎 佳介



「洗車は時間をかければ、お客様でもできる。だから時間品質にも付加価値がある」など、その商品がお客様にとってどんな価値があるのかを伝えます。パートごとにやって見せて、施工方法と目的、意味を伝え、できたら褒める、できなければなぜできないか、どうすればできるかを伝えます。これを繰り返し、ある程度できるようになったら時間を測って自主練し、目標時間をクリアできたらより高品質な施工へと修正していきます。体で覚え、スピード感を身につけることが大事です。また新入生の困っている表情を逃さず、ポイントを的確に伝えることも大切だと思います。

## その商品にどんな付加価値があるのか説明する

キーパーラボ東日本 マネージャー 宇井 一男



## 春特有の悩み… 花粉の汚れは、“お湯(50℃くらい)”で除去できます

### ステップ1 花粉がついたら… 「まず洗う」

花粉がついたら、まず洗車することが肝心。花粉に含まれるペクチンが塗装にこびりつく前に洗えば、花粉もただのホコリと同じように洗い流せます。

#### ★拭き上げはキーパークロスで!

洗車後、キーパークロスで拭き上げれば、掻き取り効果で花粉をキレイに取り去ることができます。これは意外と大きな効果があります。



### ステップ2 花粉が軽いシミになったら… 「“お湯(50℃くらい)”に浸したキーパークロスで拭く」

花粉がついて少し時間が経っていて、洗車しても落ちない場合は、お風呂より少し熱い程度のお湯でキーパークロスを濡らし、絞らずにそのまま拭き上げます。キレイになったら、乾いたキーパークロスで拭き上げます。

厚手のゴム手袋を着用し、火傷に気をつけながら作業してください



バケツにお風呂より少し熱いお湯(50℃くらい)を汲み、キーパークロスを濡します



バケツからキーパークロスを取り出し、絞らずにボディを拭き上げます。キレイになったら乾いたキーパークロスで仕上げます

### ステップ3 花粉が完全なシミになっていたら… 「熱い“お湯(70℃くらい)”をかける」

花粉がついて相当な時間が経つと、ペクチンが塗装にしみこみ、強固にこびりついた「シミ」のように見え、洗車したり、50℃くらいのお湯で拭いても落ちない場合があります。そんな時は、70℃以上のかなり熱いお湯を塗装にかけて、火傷しないようにキーパークロスで拭き取れば、跡形もなくキレイになります。



70℃以上のお湯をかけてキーパークロスで拭き取ればすっきり!

## 結論

「花粉のシミは、夏になって気温が高くなると、自然に消えてしまいます」

ペクチンは一定の温度により熱くなると壊れ、花粉のシミは消えてしまいます。熱いお湯をかければ、花粉のシミは消えるのはもちろん、夏を迎えて気温が高くなれば、ボディは50℃以上、時には70℃を越す場合もあり、花粉のシミは自然に消えてしまいます。



花粉のシミを消すために絶対にやってはいけないこと

### ①ゴシゴシこすらない

コンパウンドやポリッシャーでゴシゴシと削り落とすとしても、塗装の内部にはペクチンが残っており、またシミができたようになります。塗装を傷める可能性があるため避けましょう。

### ②ヒートガンを使用しない

電熱線で空気を直接熱するので、塗装にダメージを与えるまでの高温になる危険性があります。



ヒートガンは塗装にダメージを与える危険性があります

### ③スチームクリーナーを使用しない

スチームクリーナーのアタッチメントにクロスを巻きつけて、70℃以上のスチームを出しながら、塗装面に接触させ続けることで、効率的に温めることができます。しかし、高熱で巻きつけたクロスの色や拭き跡が塗装面にうつってしまう危険性があります(クロス以外の様々な素材でも完全に解決できませんでした)。



花粉のこびりつきを防ぐには…

「花粉のシミの除去後、キーパーコーティングで塗装を保護しておくことをおすすめします」  
クリスタルキーパーとダイヤモンドキーパーは、花粉のこびりつきやシミを防ぐのに、かなり効果があります。